



いつにもましておいしいごはん

# わっくつ

～明るく かしこく たくましい子ども～

## 岩手を「あじわった！」～宿泊研修から～

9月4日（水）、5日（木）の1泊2日にわたり、小学校5・6年生が宿泊研修を行いました。行先は山田町と釜石市です。山田町の陸中海岸青少年交流の家に宿泊して海のスポーツを体験するとともに、東日本大震災の津波等の様子を現地の人から聞きました。

初日は8時30分に柳沢小中学校を出発、11時頃青少年の家につきました。入所式をして部屋に入り、着替えをして午前中が終わりました。昼食を食べた後、B&G海洋センターへ移動してお話を聞いた後、天気にも恵まれ、海のスポーツ体験が始まりました。バナナボートでは、みんなで一緒にのり、海の上をすべる気持ちよさを体験しました。続いてサップ・カヤックの体験では、パドルの操作が難しく、落ちそうで怖かったけれど海を自由に進む楽しさも味わいました。晩御飯は野外炊事でカレーを作って食べました。



2日目の活動は朝6時の起床から始まりました。朝のつどい、朝食を済ませて準備をした後、10時くらいに釜石市へ出発しました。釜石市鶴住居にある「命をつなぐ未来館」で実際につかわれた避難路を体験してみました。片道1km以上ある道のりを歩きましたが、実際に避難した方々はとてもつらい思いをしながらこの道をたどったことが想像できました。そのあとは、宝来館へ行き、昼食を食べた後、女将さんの岩崎昭子さんから震災に関わるお話を聞きました。当時の写真・映像や巧みなお話から震災当時のようすが、子ども達へしっかり伝わりました。



学校への帰着は1時間ほど遅れましたが、大きなトラブルもなく、無事に2日間の予定を終えることができました。

短い時間の中でしたが、海のしょっぱさ、自分たちでつくったカレーのおいしさ、宝来館で食べた新鮮な海の幸の味、いろいろな「味」を記憶に刻んだようです。これらと共に海の楽しさや危険な面、そしてそこに生きる人々の経験も記憶にとどめて今後の財産にしてほしいと思います。

## 中学生、大健闘！～地区新人大会から～

9月14日（土）、15日（日）に滝沢市総合体育館で岩手地区新人大会卓球競技が開催され、本校からも1・2年生6名が出場しました。



初日14日は団体戦。人数の関係で女子の部のみの出場、しかも対戦は「2負け」からのスタート

# 10月のおもな行事

日(曜日)	予 定
1日(火)	衣替え 全校朝会 かつこう号来校
2日(水)	県学調(中2) 視力検査 さつまいもほり(小1・2年)
3日(木)	
4日(金)	英語検定(中) そば収穫(9/30より変更)
5日(土)	
6日(日)	
7日(月)	
8日(火)	朝会(小中別)
9日(水)	学習発表会予行
10日(木)	
11日(金)	ALT 安全安心心の日
12日(土)	学習発表会
13日(日)	
14日(月)	スポーツの日(祝)
15日(火)	振替休日(小中) かつこう号来校
16日(水)	プログラミング(小4~6年) スクールカウンセラー
17日(木)	地区中文祭(中) 職員会議
18日(金)	ALT
19日(土)	
20日(日)	
21日(月)	実力テスト(中3) 委員会
22日(火)	全校朝会、スクールカウンセラー 脊柱側彎検診(小5、中1) 教育長訪問
23日(水)	市英語暗唱大会(中)
24日(木)	児童生徒会役員選挙
25日(金)	認証式(朝) 集金引落日 そば脱穀
26日(土)	
27日(日)	
28日(月)	委員会
29日(火)	表現集会 ALT スクールカウンセラー
30日(水)	市音楽会(小)お弁当(小)
31日(木)	校内研究会

になったのですが、4校の予選リーグをみごと2位で突破、ベスト4に入りました。準決勝では西根中学校に健闘するも残念ながら負けて3位となり、惜しくも県大会出場はかないませんでした。

2日目は男子2名、女子4名が個人戦に出場しました。各対戦では持てる力を発揮し、みごとに全員が初戦を突破しました。さらに女子は勝ち続け、3人がベスト8に入り、県大会出場権を獲得しました。最終的にはキャプテンの櫻井七海さんがベスト4に入り、3位に入賞を果たしました。

地区中総体から約3か月。限られた練習時間で一人一人が努力してきた成果を証明できた大会となりました。今後は県大会に出場する選手を中心に全員でさらに高みを目指してほしいと思います。

## 楽器の音色を楽しみながら



9月11日(水)に本校講堂を会場に音楽鑑賞会を開催しました。演奏者は新日本フィルハーモニー管弦楽団所属の吉鶴洋一氏(ピオラ)と吉鶴ゆかり氏(ピアノ)ご夫妻でした。「愛のあいさつ(エルガー)」から始まり、軽妙な進行とともにのべ10曲ほどの演奏をしていただきました。そしてアンコールでは本校の校歌を演奏していただきました。私たちは普段、スピーカーから流れる音楽は耳にしていますが、楽器の生演奏をふれることはあまりありません。今回は児童生徒、教職員が地域の方々と共に、プロのつむぐ豊かな表現に聞き入り、素敵な1時間を過ごすことができました。

このような機会を紹介いただきました本校学校医、山口淑子氏に深く感謝いたします。

## 「ノーベルの卵展」入賞した児童の紹介

優秀賞(滝沢市子ども会育成連合会長賞)	3年	大島 璃途
協賛企業賞(小山田電機株式会社賞)	3年	佐藤 花楠
協賛企業賞(滝沢市ライオンズクラブ賞)	4年	渡辺 一休
協賛企業賞(フラワーショップリール/百花賞)	2年	大峠 晴陽
協賛企業賞(カワハラ事務機滝沢営業所賞)	5年	下平 海羽
協賛企業賞(エムテック株式会社賞)	2年	佐々木 結津
協賛企業賞(ビッグルーフ滝沢賞)	6年	佐藤 幸太郎